

## 第8回鹿野地域振興会議 日程

日時 平成31年2月21日(木)

15:00~16:30

場所 鹿野町総合支所 第1・2会議室

### 1 開会

### 2 会長あいさつ

### 3 報告事項

(1) 行事予定

資料1

(2) 2月19日開催の地域振興会議会長会報告について

資料2

### 4 議題

(1) 公共交通(気高循環バス)について

(2) 鳥取西道路開通観光キャンペーンについて

資料3

### 5 その他

(1) 委員質問

資料4

① バイオセンターの活用について

② 保健センターの活用について

③ 光速通信網の拡張状況及び通信社への要請について

### 6 その他

○次回開催日

4月 日 ( )

:

~

中旬ごろ

### 7 閉会

## 平成31年2月 地域振興会議 経過報告

(H31.2. 21)

月日	曜日	事業名	内容
1.18	金	お正月遊び交流会	こじか園（主催：3地区公民館） 参加者：47名
1.21	月	しゃんしゃん体操教室	農業者トレーニングセンター（主催：鹿野地区公民館） 参加者：5名
1.23	水	冬の手仕事 編み物②	農業者トレーニングセンター（主催：鹿野地区公民館） 参加者：2名
		そば打ち教室	小鷲河地区公民館 参加者：10名
1.28	月	スポーツ吹き矢教室	農業者トレーニングセンター（主催：鹿野地区公民館） 参加者：2名
2.1	金	男の料理教室	農業者トレーニングセンター（主催：鹿野地区公民館） 参加者：13名
2.2	土	節分行事	鹿野往来交流館 童里夢ほか（主催：いんしゅう鹿野まちづくり協議会）参加者：約50人
2.4	月	野菜と花作り研修会	勝谷地区公民館 参加者：24名
2.5	火	消防訓練	小鷲河地区公民館 参加者：4名
2.6	水	くんせい作り教室①	勝谷地区公民館 参加者：13名
		防災訓練	勝谷地区公民館 参加者：10名
2.8	金	機能改善健康教室	農業者トレーニングセンター（主催：鹿野地区公民館） 参加者：10名
		くんせい作り教室②	勝谷地区公民館 参加者：12名
2.9	土	くんせい作り教室	小鷲河地区公民館 参加者：12名
2.13	水	大人のお菓子作り	小鷲河地区公民館 参加者：18名
2.15	金	楽しい川柳教室	勝谷地区公民館 参加者：17名
		樹脂粘土でひな人形づくり	小鷲河地区公民館 参加者：4名
2.17	日	第40回鹿野町卓球大会	農業者トレーニングセンター（主催：鹿野町卓球同好会） 参加者：約30名
2.18	月	しゃんしゃん体操教室	農業者トレーニングセンター（主催：鹿野地区公民館） 参加者：12名

## 今後の予定

月日	曜日	事業名	内容
2.22~24 3.1~3	金~日	鳥の劇場公演「葵上/班女/熊野/綾の鼓」	鳥の劇場
2.23	土	西いなば逸品まつり	鹿野往来交流館 童里夢
2.23~3.24	土~日	鳥取市鹿野町収蔵品展	あおや郷土館

月日	曜日	事業名	内容
2.24	日	勝谷を考える日	勝谷地区公民館
2.25	月	スポーツ吹き矢教室	農業者トレーニングセンター(主催:鹿野地区公民館)
2.26	火	鳥取のおいりづくり	小鷲河地区公民館
2.27	水	編み物教室①	勝谷地区公民館
2.28	木	雛鷲の立初め式(鹿野学園2年生)	鹿野学園 流沙川学舎
		おいり作り	農業者トレーニングセンター(主催:鹿野地区公民館)
		編み物教室②	勝谷地区公民館
		桃の節句交流会	こじか園 (主催:勝谷地区公民館)
3.5	火	家庭菜園教室	農業者トレーニングセンター(主催:鹿野地区公民館)
		手づくりおもちゃの会	勝谷地区公民館
3.6	水	春野菜づくり教室	小鷲河地区公民館
3.7	木	鹿野財産区議会	鹿野町総合支所
3.8	金	機能改善健康教室	農業者トレーニングセンター(主催:鹿野地区公民館)
3.9	土	小鷲河子どものつどい	小鷲河地区公民館
3.10	日	資源ゴミ回収	勝谷地区公民館
		卒業生を送る会	勝谷地区公民館
3.11	月	鹿野学園 第1回卒業式	鹿野学園 王舎城学舎
		しゃんしゃん体操教室	農業者トレーニングセンター(主催:鹿野地区公民館)
3.12	火	布おもちゃで遊ぼう	こじか園 (主催:3地区公民館)
3.14	木	きめこみ教室	農業者トレーニングセンター(主催:鹿野地区公民館)
3.20	水	こじか園卒園式	こじか園
		若鷲の立志式(鹿野学園5年生)	鹿野学園 流沙川学舎
3.22~24	金~日	鳥取市鹿野町の暮らし体験	鹿野町地域内(主催:いんしゅう鹿野まちづくり協議会)
3.22	金	地区緑化事業(花苗配布)	小鷲河各集落
3.25	月	スポーツ吹き矢教室	農業者トレーニングセンター(主催:鹿野地区公民館)

## 各地域で重点的に取り組んでいる事項

平成30年度第2回地域振興会議会長会 資料

地域	題目	内容(概略)
国府	まちづくり協議会と地区公民館に関わる地域組織の在り方を検討	国府地域では、宮下地区で地域組織の在り方について地域の特性の把握や課題の検証を、年間を通して取り組んできた。取り組みの内容は、「参画と協働のまちづくりフォーラム」で発表され、他地区の公民館やまちづくり協議会にも情報提供がなされている。 国府地域振興会議でも、各公民館運営委員会やまちづくり協議会がかかえる現状や課題の報告を受けている。今後、振興会議でモデル地区として取り組んだ宮下地区の検討状況や成果を意見交換し、地域が主体となったまちづくりに向けて、他地区へも波及効果となるよう進めていきたい。
福部	新たなインターチェンジを活用する福部町のまちづくりの推進	平成30年 3月 鳥取大学に調査研究委託を行い、基本構想を策定 5月～ 福部地域振興会議で基本計画策定に着手 10月 まちづくりワークショップの開催 平成31年 1月 基本計画(素案)への意見募集
河原	いなば西郷むらづくり協議会「工芸の郷づくり」	西郷地区は河原町でも最も過疎化・少子高齢化の進行や空き家が増加している地域であり、このような状況を改善し、地域を活性化するため平成28年度から地域の資源である陶芸等を活用した西郷工芸の郷づくりに取り組んでいる。 今後は、これまでの取組みを加速するためさまざまなアイデアやスキルをもった外部の人材によるサポートが必要と考えている。
用瀬	公共交通の確保	公共交通の存続については、地域振興会議でも先進地視察を行うなどしているところだが、H30年11月に今年度末で乗合タクシー運行がなくなることが明確になった。地域では高齢化が進行してきており、幹線バス路線も含め、今後どのように公共交通を確保していくかが、重要な課題となっている。
佐治	小さな拠点づくり事業と新たな地域運営組織について	佐治町は人口減少と高齢化が合併新市域の中で突出して進行している地域です。人口減少と高齢化の進行によって、生活に必要なサービスや機能がだんだんと縮小・後退していくことが想定されます。これからは何でも「行政まかせ」や「行政頼り」から、できることは可能な限り住民主体で取り組んでいくこととして、小さな拠点づくり事業による新たな仕組みづくりを通じて、これからも佐治で住み続けていけることを目指し、地域助け合い事業などの取組みを始めたところです。 また、まちづくり協議会の見直しや地区公民館の地域運営を含む新たな市民との協働によるまちづくりの展開に向けて、新たな地域運営組織の検討にも取り組んでいます。この「小さな拠点づくり事業」と「新たな地域運営組織の構築」を一体的に進めることで、より発展的な可能性や効果が高まるものと考えています。引き続き、市の支援と協力をお願いします。
気高	浜村温泉街の活性化について	浜村駅周辺の浜村温泉街では、空き家になった店舗をリノベーションし新しく事業を始める動きが若者を中心に起きている。 今後も交流人口を増やし賑わいのあるまちにするため、地域住民の参画、行政の支援が必要。
鹿野	道の駅・高速交通ネットワーク完成を見越した地域振興の推進	鹿野地域の魅力アップ ・鳥の演劇祭、週末だけのまちな店、わったいな祭り等既存のイベントの磨き上げ ・西日本最大級のハス田新規整備と情報発信 ・空き家の有形文化財登録と利活用推進 ・山間地遊休農地での果樹の里山づくり ・桜の名所「鹿野城跡公園」の管理と演出
青谷	青谷上寺地遺跡の地域の関わりについて	青谷上寺地遺跡の史跡整備が平成31年度に着手されることに伴い、地域力により史跡を活用したまちづくりを行うよう視察や検討を行っている。

# 各地域で重点的に取り組んでいる事項

地域	題目	内容	現状及び担当課の対応方針	担当課
鹿野	<p>道の駅・高速交通ネットワーク完成を見越した地域振興の推進</p>	<p>鹿野地域の魅力アップ                      ・鳥の演劇祭、週末だけのまちの店、わったいな祭り等既存のイベントの磨き上げ                      ・西日本最大級のハス田新規整備と情報発信                      ・空き家の有形文化財登録と利活用推進                      ・山間地遊休農地での果樹の里山づくり                      ・桜の名所「鹿野城跡公園」の管理と演出</p>	<p>【イベントの磨き上げ】                      平成30年度は、相乗効果を期待し秋季の各種イベントを統合して開催。集客の大幅増には結びつかなかったが、主催団体間の新たな連携を生むことができた。より魅力的なイベントのあり方について、関係団体と連携し、引き続き協議・調整を行う。</p> <p>【ハス田整備】                      平成30年度は、花畑整備エリア約70aのうち、新たに30aをコスモスから転換して合計40aのハス田を地域と協働して整備した。ハスは初夏から9月下旬まで開花し続け、安らぎやゆとりを住民、来訪者へ与えることができた。今後とも、「四季薫るまち鹿野」を基本理念とし、住民・関係団体と協働し花のある風景づくりを進めて行く。</p> <p>【空き家の有形文化財登録と活用】                      本市が移住定住空き家運営業務を委託しているNPO Oいんしゅう鹿野まちづくり協議会が中心となり、町内に点在する貴重な古民家を登録文化財として登録する取り組みを進め、一部はゲストハウスや移住者の居宅などとして活用している。引き続き、町内の空き家情報の収集・確保に努め、本市への移住定住を推進して行く。</p> <p>【果樹の里山】                      高齢化等による耕作放棄地の拡大を防止、集落機能や田園風景を維持するため、河内地区において平成27年度から、遊休農地を活用した果樹栽培に取り組んでいる。地元農家・鳥取大学・大阪国際大学・NPO いんしゅう鹿野まちづくり協議会等と連携して、関係人口を増やすとともに、果実を利用した商品開発や地域の課題解決と魅力発信を推進して行く。</p> <p>【鹿野城跡公園の演出】                      鹿野城跡公園は、多くの住民やボランティア団体等によって、清掃・除草・ボンボリ設置、ライトアップ等の活動が活発に行われており、夜桜を楽しむ多くの花見客で賑わうほか、紅葉の名所としても知られるようになってきた。引き続き、様々な地域団体等と連携して適正な管理と一層の魅力アップに努める。</p>	鹿野支所地域振興課

## 鳥取西道路開通観光キャンペーンについて（参考資料）

※現段階のたたき台です。内容の決定は今後、関係者で組織する実行委員会において行っていく予定です

### ◆目的

山陰道・鳥取西道路の開通を契機に、ストロー化現象対策と開通区間周辺エリアの観光振興を図るため、鳥取市と鳥取県が連携して「鳥取西道路開通キャンペーン」を実施する。

道路開通に伴い「浜村鹿野温泉IC」付近に新設される道の駅「西いなば気楽里」や、西いなば地区（青谷、気高、鹿野）・白兔海岸・湖山池・吉岡温泉など周辺エリアへの来訪、周遊や滞在につながるよう、道路開通前から広報宣伝、誘客促進事業を実施する。

取り組み内容に応じて、鳥取砂丘など開通区間近隣のエリアとの連携を図る。

### ◆鳥取西道路開通の効果等

現在、鳥取西道路の鳥取西IC－青谷IC間（17.5Km）は、2019年度夏までの全区間一体開通に向けて工事が行われている。

開通の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県内の東西の移動時間の短縮化、国道9号線の混雑緩和。</li> <li>● 観光面で関西方面や、鳥根県東部、広島・山陽地方からの観光客入込の増加。（特に従来から有名、認知度の高い観光地等への来訪が増えると予測される。）</li> <li>● 従来の旅行移動ルートからの鳥取西道路利用への転換やツアー内容の拡大による通行量の増 （例）関西―出雲間は、高速料金の安価により、中国道・米子道ルートから、鳥取道・山陰道ルートへ転換が見込まれる。  松江・出雲が目的地の中心であった広島周辺出発のツアーにおいて、道路開通により鳥取砂丘が加えられやすくなる。</li> </ul>
懸念される事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高速道路の接続は、移動距離や時間の短縮化から、利便性の向上や行動範囲の拡大につながるが、その反動として、次の事象が懸念される。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストロー現象、観光地の素通り化</li> <li>・高速道路に並行する一般道路沿線の衰退</li> <li>・従来から認知度や魅力度が弱い観光地や施設等は、開通による交通量増の効果が得られない恐れがある。</li> </ul> </li> </ul>

### ◆鳥取西道路開通観光キャンペーン事業（案）

#### 1. ポータルサイト開設運営

鳥取西道路開通に伴う宿泊キャンペーンや沿線の立ち寄り観光スポット、イベント等の情報を発信するため、特設サイトを開設する。

#### 2. 宿泊キャンペーン

鳥取西道路開通を契機として、いなば温泉郷や鳥取市内への宿泊誘客を図るため、指定エリア内の宿泊者に対するプレゼント企画を実施する。

#### 3. 周遊スタンプラリー

鳥取西道路沿線地域への誘客と周遊促進を図るため、当該地域内の施設・イベントを巡るスタンプラリー企画を実施する。

#### 4. 地域資源の魅力アップ企画（2事業程度）

鳥取西道路沿線地域の資源を活用した魅力向上事業を実施する。

- 足湯巡り
- 西いなば花ごよみ
- ウォーク大会のシリーズ化
- 因州和紙明かり

#### 5. 誘客宣伝活動

鳥取西道路開通に伴う宿泊キャンペーンや沿線の立ち寄り観光スポット、イベント等の情報を発信するため、高速道路 SA や集客力のある大型ショッピングセンターで宣伝活動を展開するとともに、広報宣伝のための、のぼりやPR 袋等のツールを作成する。





# 鳥取西道路に期待される道路の役割 (効果)

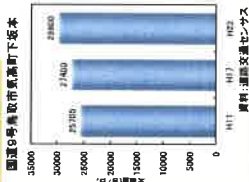
## 国道9号の渋滞緩和

鳥取西道路に並行する国道9号の交通量は増加傾向にあります。特に鳥取市内の白兔付近では朝の通勤時間帯や観光シーズンに1kmを越える渋滞が発生しています。鳥取西道路の整備により、渋滞緩和が期待されます。



写真 国道9号白兔付近 渋滞状況(平日・朝)  
(鳥取市白兔区内 H25.6月撮影)

## 国道9号の状況



## 災害時等の代替路線の確保

国道9号では、事故や雪等により、通行止めが頻発しています。鳥取西道路の整備により、通行止めの影響を回避でき、安心して目的地へ向かうことができます。



写真 国道9号鳥取市の状況  
(鳥取市鳥取町日光区・鳥取市内方面)

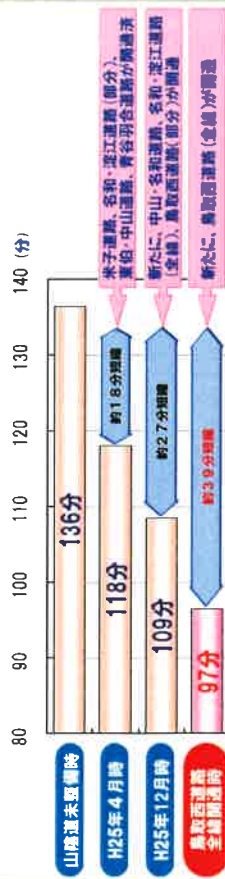


事故等における通行止め状況

## 東西間の移動時間の短縮

将来、鳥取県内の山陰道整備により、鳥取県東西方向の所要時間短縮が図られ、観光の広域化や物流の効率化等による地域への貢献が期待されます。

## 米子市役所～鳥取市役所への所要時間の比較



国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所  
〒680-0803 鳥取市田園町4丁目400番地 TEL 0857-22-8435(代)  
ホームページアドレス <http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/>

H30.9月版

# ROUTE 9

# 山陰道 鳥取西道路

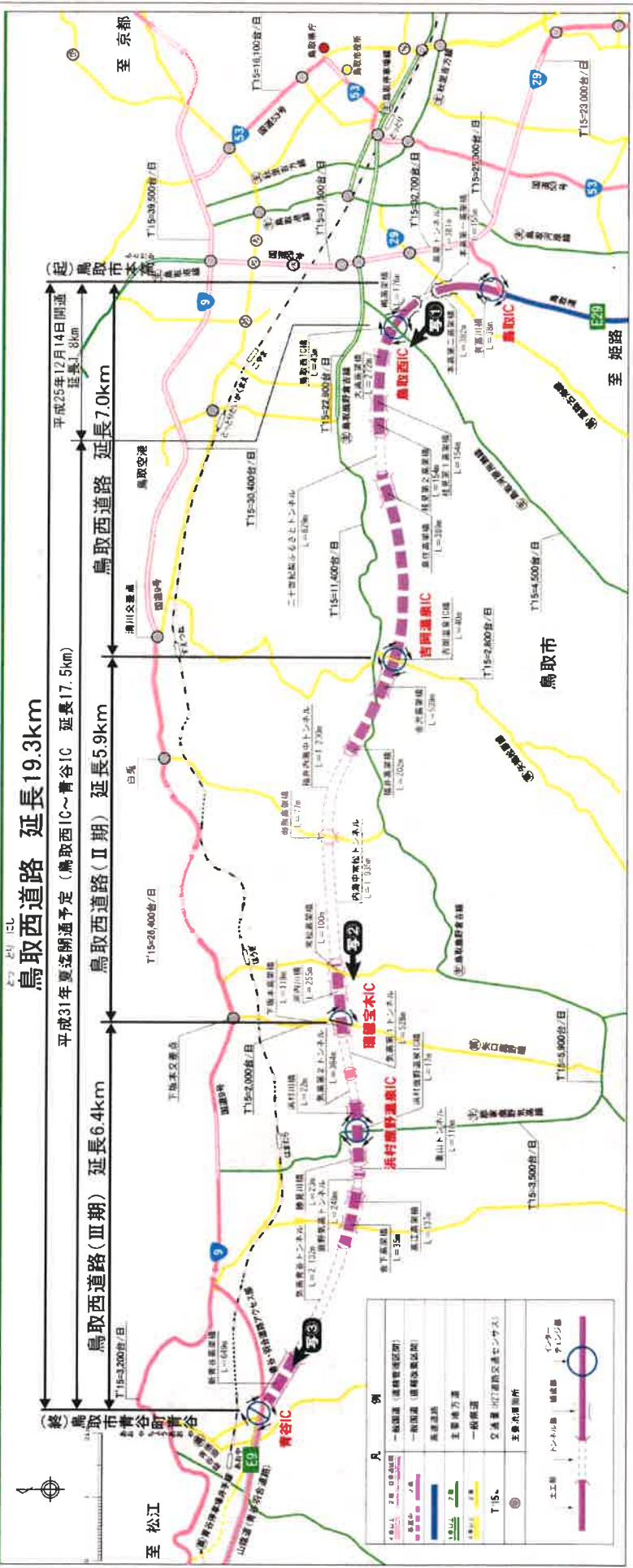
～未来を創造する交通ネットワーク～



鳥取IC付近より西方向を望む



計画位置図



事業の概要

国道9号は、京都市から下関市に至る延長約755kmの主要幹線道路です。しかし鳥取県を東西に結ぶ唯一の主要幹線道路であるため、鳥取市内では朝夕及び観光シーズンに深刻な交通渋滞が発生しています。また、この区間は代わりとなる道路がないため、大きな事故や災害等の発生時には、日常生活はもとより、地域の経済活動に多大な支障をきたしています。

本道路は、緊急時の代替路線の確保、現道の渋滞緩和、観光・医療・物流活動を支援するとともに、山陰地方における高規格幹線道路網の一部を形成する路線で、広域交流の促進及び地域活性化に寄与する自動車専用道路です。

空撮写真

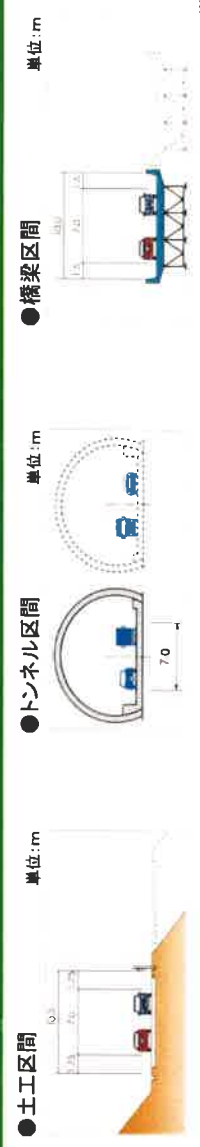


写③ 青谷IC付近(鳥取市青谷町青谷地内)

写② 瑞穂宝木IC付近(鳥取市気高町常松地内)

写① 鳥取西IC付近(鳥取市大井地内)

標準断面図



事業名	鳥取西道路(Ⅲ期)	鳥取西道路(Ⅱ期)	鳥取西道路
計画延長	6.4km	5.9km	7.0km
道路規格、幅員	第1種2線、幅員10.5m(2車線)		
設計速度	100km/h		
事業着手	平成20年度	平成19年度	平成17年度
工事着手	平成23年度	平成22年度	平成20年度

H30年5月撮影

※破線は4車線完成時

116国道9号「西日本自動車道」(鳥取市)の建設に関するお問い合わせ先(鳥取県) 鳥取県建設部 建設課 電話:0858-21-1111

## 質問

- ① バイオセンターは、現在、活用されていますか。  
荷物も散然としておりますが、入口付近には種駒が少し入った箱が置いてありましたが？
- ② 保健センターの活用について前進はありますか？
- ③ 光速通信網の拡張状況はどうでしょうか。  
又、通信社への要請はどうでしょうか？

## 委員提案

地方創生が叫ばれて久しいですが、鹿野町の現状は過疎化と少子高齢化も年々進み誘致企業もない状況です。

先月、鹿野学園の子供達が、何とか鹿野を盛りあげようと柔軟かつユニークな発想で意見発表してくれました。

私も鹿野町の創生の肝心要は観光だと思えます。そのために観光客誘致にテーマ性、ストーリー性を加味した取り組み。

例えば歴史探訪ツアーと銘打って、官民で智恵をしぼり観光客を呼び込む。その一つの手だてとして、東京の驚ヶ峰会、大阪の関西驚ヶ峰会の皆さんに応援を頂いたらどうでしょうか。社会的に成功されている方も、かなりおられると伺っております。「郷土のためなら」と一肌脱いで下さる方も、おられるのではないのでしょうか。

又、観光にはリピーターの定着が最も重要であると考えます。名所旧跡もさる事ながら、おもてなしの郷土料理など工夫していく事が重要であると思えます。

## 思いつくままに

- ① 春の桜 城跡公園 茶席の開催（二ノ丸、薬研堀）と内堀に手こぎボート設置
- ② 鹿野祭への参加（屋台着、にわか（女形））
- ③ 人力車の設置（街なみ、城山公園）
- ④ 秋の雲龍寺庭園（紅葉狩りと茶席）
- ⑤ 鳥の劇場の観劇
- ⑥ 畑のオーナー制度の実施（休耕田を活用）
- ⑦ そば道場でのそば打ち体験